

「すぐ出来る！年間30万円
減らすITコスト削減」

it-help

はじめに

本書は中小企業の経営者様やITご担当者様、SOHOの皆様、及び起業家の皆様に、アイティーヘルプ株式会社が実施しているセミナー資料をもとにパブー向けに再編集したものでございます。主にIT初心者の方向けの内容となっており、「ITのコスト削減」と、「ITによるコスト削減」の、2つの面から年間**30万円**程度のコストを削減して頂けるようなご提案となっております。

「ITのコスト削減」とは、ITのハードウェア、ソフトウェアの導入コストや運用コスト自体を下げることで可能となる方法を指し、主に直接的なコスト削減となります。それに対し「ITによるコスト削減」とは、ITのハードウェアやソフトウェアの導入によって、作業効率の向上やセキュリティの向上によってもたらされる主に間接的なコスト削減となります。

本書が少しでもお客様のコスト削減のお手伝いが出来れば幸いです。

パソコン本体のコスト削減（1）

現在のパソコンの世界シェアベスト3をご存知ですか？1位がHP（ヒューレット・パッカード）、2位がAcer（台湾のメーカー）、3位がDELLです。（2009年調べ）このうちHPとDELLのパソコンは台湾の「鴻海精密工業（Hon Hai Precision Industry：ホン・ハイ・プレジジョン・インダストリー）」ブランド名はFoxconnというところからEMS供給（OEMのようなものとお考え下さい）を受けています。世界シェア1位と3位のパソコンが同じところで作られているのです。ちなみにiPhoneもこちらで製造されています。

同様に2位のAcerはNEC、日立、富士通などにマザーボードほかの主要部品、もしくは完成品を提供しています。このことから、いまや世界中のパソコンは台湾（製造は中国のことが多い）で作っていると言っても過言ではありません。

更に、パソコンの心臓部である「CPU」と言う部品は、Intelという会社の製品で独占されていると言ってもよい状況です。ですので、**CPU**の型番が一緒で、且つメモリ搭載量が同一であるならば、基本的にどのメーカーのパソコンでも性能に体感できるほどの違いはありません。つまり、条件が一緒であるならば純粋に価格と性能で選んで問題はないということです。

また、パソコンはハードウェア単体では非常に利幅の薄い商品です。ですから、メーカーは搭載ソフトウェアを増やしてその利幅を補っている場合がございます。ビジネスでご利用の場合には、特に必要のないソフトウェアが搭載されたパソコンはそのソフトウェアの価格分だけ高価になっている場合がございますので、出来る限り必要のないソフトウェアが搭載されていない機種をお選び頂くことをお奨め致します。

具体的な事例にてご説明しましょう。以下は日本国内でのシェアが最も高い**NEC**の製品と、BTOメーカーであるマウスコンピューターのパソコンを比べたものです。

メーカー名	NEC	マウスコンピューター
PC名	Mate J タイプML MJ32M/L-B	Lm-iS602B
CPU	Core i5-650	Core i5-650
OS	Windows7 Professional	Windows7 Professional
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード & USB光センサーマウス	PS/2 109日本語キーボード&USBオプティカルマウス
メモリ	4GB	4GB
HDD	500GB	500GB
DVD・CDドライブ	DVDスーパーマルチドライブ	22倍速DVDスーパーマルチドライブ
ディスプレイ	22型高精細ワイドTFT液晶（1680×1050）	24型ワイド液晶 iiyama PLE2410HDS-B1（1920×1080）
保証	1年標準保証	1年間無償保証(初期不良対応1ヶ月/以後センドバック修理)
価格	¥134,610	¥97,230
差額		¥37,380

パソコン本体のコスト削減（2）

それぞれのメーカーのBTOメニューから仕様をほぼ同一に構成した場合、上記のような結果となりました。

マウスコンピューターのBTOメニューには22型というディスプレイの選択肢がありませんでしたので（21.5型のみ）、24型と大きめのディスプレイを選択しました。それ以外の仕様は一緒です。

ご覧頂ければお分かりになる通り、4万円弱の差額が出ています。上記でご説明したとおり、基本的に世界中のパソコンは、ほぼ台湾（中国）で製造されておりますので、上記のように仕様が一緒であれば、ほぼ性能に差は出ません。

仮に、新規導入時に5台調達したとすると、

差額 37,380円 × 5台 = **186,900円** もの違いになります。

ちなみにパソコンの税制上の減価償却期間は、2001年4月からは、100万円までなら4年間、20万円未満なら3年均等償却も可能となっております。上記を3年償却として1年あたりのコストを比較してみましょう。

・ NECの場合

134,610円 ÷ 3年 = 44,870円

・ マウスコンピューターの場合

97,230円 ÷ 3年 = 32,410円

年間差額 **44,870円 - 32,410円 = 12,460円**

年間1台のパソコンにつき **12,460円** のコストダウンとなります。

パソコンの新規導入時や入れ替え時には、上記をご理解頂き貴社のITコストダウンにお役立ていただきたく存じます。

コピー機や複合機のコスト削減 (1)

皆様のオフィスでもコピー機や複合機をご利用のことと存じます。さて、月々のコストは如何ほどでしょうか？新たに導入する場合を調べてみました。

・カラー複合機の場合

毎月のリース料金 **12,000円** 5年リース

カウンター保守：20円～35円
トナーキット保守：25円～40円

・モノクロ複合機の場合

毎月のリース料金 **8,000円** 5年リース

カウンター保守：5円～8円
トナーキット保守：7円～10円

基本的にかなり安いところを探しました。もちろんトナー、メンテナンス料金無料です。カウンター保守とトナーキット保守の違いですが、カウンター保守はカウンター料金にトナー代やメンテナンス料金が含まれる契約。トナーキット保守は、トナーを買うことでメンテナンス料金が無料になる方式です。

ここでは最も一般的なカウンター保守契約で、1ヶ月に**1,000**枚使用すると仮定して計算してみましょう。

・カラー複合機の場合

リース料金 **12,000円** + カウンター料金 **35円×1,000枚**
= **47,000円**

・モノクロ複合機の場合

リース料金 **8,000円** + カウンター料金 **8円×1,000枚**
= **16,000円**

コピー機や複合機のコスト削減（2）

さて、ここでお考えいただきたいのは、上記機種は最大用紙サイズが**A3**まで印刷可能な機種ということです。皆様のオフィスでA3のコピーを頻繁におとりになりますか？

もしあまり必要でなく、印刷可能な用紙サイズを**A4**以下にしても問題ない場合は、劇的にコストを削減していただくことが可能です。

その方法とは購入して頂くことです。

上記のA3対応複合機はおおよそ100万円以上する機種ですので、リースが一般的ですが、**A4**対応の複合機は実はかなり安く購入可能です。もちろんレーザー印刷、ネットワーク対応で、コピー、プリンタ、FAX、スキャナの機能を搭載しております。实例をあげてみましょう。価格は大手価格比較サイトカカコム調べとなります。

・カラー複合機の場合

リコー IPSiO SP C221SFL 販売価格 **44,137円**

トナーカートリッジC220、C、M、Y、B（2,000枚印刷可能）それぞれ6,000円

スポット保守 12,000円+技術料金6,000円（30分）

・モノクロ複合機の場合

CANON Satera MF4370dn 販売価格 **29,345円**

トナーカートリッジ304（2,000枚印刷可能） 5,400円

スポット保守 28,200円（概算修理代）+7,350円（出張代）

となります。月**1,000**枚印刷したとして、**1**年間のコストを両者で比較してみましょう。

コピー機や複合機のコスト削減 (3)

・カラー複合機A3対応機とA4対応機のコスト比較

A3対応カラー複合機リースの場合

毎月のリース料金 **12,000円** ×12ヶ月 + カウンター料金 **35円×1,000枚×12ヶ月** =
564,000円

A4対応カラー複合機購入の場合

カラー複合機 購入費用 **44,137円** + トナー代 (4種のトナーを2ヶ月おきに変えると) **4種**
×6,000円×6回 = **188,137円**

年間差額 **564,000円** - **188,137円** = **375,863円**

・モノクロ複合機A3対応機とA4対応機のコスト比較

A3対応モノクロ複合機リースの場合

毎月のリース料金 **8,000円** ×12ヶ月 + カウンター料金 **8円×1,000枚×12ヶ月** =
192,000円

A4対応モノクロ複合機購入の場合

モノクロ複合機 購入費用 **29,345円** + トナー代 (2ヶ月おきに変えると) **5,400円×6回** =
61,745円

年間差額 **192,000円** - **61,745円** = **130,255円**

コピー機や複合機のコスト削減（4）

ご覧頂ければお分かり頂けるように、カラー複合機で年間**38**万円程度、モノクロ複合機で年間**13**万円程度のコスト削減となります。ちなみにA4複合機の場合は初年度こそ購入のイニシャルが掛かりますが、当然のことながら次年度以降はトナー代のみとなりますので、更にコストダウンが可能です。

皆様のご懸念なのは恐らくメンテナンスの部分であるかと存じますが、弊社の経験上、A4複合機の耐久性は通常のA3対応複合機と比べても大差ありません。仮に上記記載のスポット保守をご利用になったとしても、コストはA4複合機の方が安いのは明白です。

また、どうしてもA4以上の印刷が必要な場合は、コンビニにあるコピー機やキンコースのようなオフィスコンビニをご利用頂くなどの方法もございます。更には大型用紙印刷専用のプリンタをご購入頂くなどの方法もございます。

貴社の複合機のご環境をご確認いただき、少しでもコストダウンのお手伝いが出来れば幸いです

。

ソフトウェアのコスト削減（1）

「ITのコスト削減」の中で、最も多くのコスト削減を見込めるのはソフトウェアです。世の中には「フリーウェア」や「オープンソースソフトウェア」と呼ばれる無料のソフトウェアがございます。中には十分に業務でご利用頂けるような品質のものもございます。その一部をご紹介しますでしょう。

①Officeスイート

OpenOffice.org <http://ja.openoffice.org/>

パソコンをご利用になる上で、**MicrosoftOffice**の**Word**、**Excel**、**Powerpoint**は多くの方がご利用になっておられるかと存じます。大手パソコンベンダーのパソコンを購入すると、MS Officeが予めプリインストールされている場合も多く、MS Officeを単体でご購入されたことの無い方も多いかと思いますが、実はMS Officeシリーズはかなり高価なソフトウェアです。MS Officeはその搭載ソフトウェアによって数種のバージョンが存在します。以下現行バージョンのOffice2010シリーズを参考にご紹介します。

- ・ **Office Personal 2010** (Excel・Word・Outlook)

参考市場価格：24,127円

- ・ **Office Home and Business 2010** (Excel・Word・Outlook・PowerPoint・Onenote)

参考市場価格：27,972円

- ・ **Office Professional 2010** (Excel・Word・Outlook・PowerPoint・Access・Publisher
・ Onenote)

参考市場価格：45,095円

(価格は全てカカコム調べ'10/10/26時点最安値)

ご覧頂ければお分かりになる通り、かなり高価であることがご確認頂けるかと存じます。パソコンにプリインストールされたものは、この市場価格よりかなり安価に設定されていますが、それでも最下位バージョンのOfficePersonalでも20,000円相当以上します。このMS Officeと高い相互運用性を持った無料のオープンソースソフトが、今回ご紹介する**OpenOffice.org**です。OpenOffice.orgは・・・

- * ワープロや表計算・プレゼン・データベース・ドローなどを統合したオフィスソフト
- * 無料で入手できて、自由に利用可能
- * Microsoft Officeと高い相互運用性
- * 標準ファイル形式OpenDocument(1.1-1.2)を採用
- * オープンソースという方針で開発・公開

という特徴を持ったソフトです。詳細は上記リンクをご覧ください。

ソフトウェアのコスト削減（2）

MS Officeシリーズが大体3年を目安にアップグレードしておりますので、利用期間を3年と考えOffice Personal 2010を利用した場合の1年間のコストを計算すると・・・

年間差額 24,127円 ÷ 3年 = 8,042円

いかがでしょうか？年間パソコン1台につき 8,042円 のコストダウンとなります。

もちろんだとしてもMS Officeではないと実現できない機能もあるでしょうから、全てをこのソフトに置き換えるのは時間がかかるでしょうが、試験的に社内のパソコンの一部をこのソフトに置き換えていくのは可能かと存じます。実際、住友電工や会津若松市など民間企業や地方自治体で積極的に本ソフトを導入している事例もございます。是非一度上記サイトをご覧くださいご検討になってみては如何でしょうか。

②セキュリティ

Microsoft Security Essentials http://www.microsoft.com/security_essentials/?mkt=ja-jp

お仕事でもプライベートでも、パソコンをご利用になる限りは必ずご導入いただきたいのがセキュリティソフトです。セキュリティソフトはパソコンをウイルスから守ってくれるだけでなく、ウイルスの拡散を防ぐ意味もございます。ご自身のパソコンだけでなく、ご友人やお取引先様のパソコンにご迷惑をおかけしないためにも、是非ともセキュリティソフトをご導入下さい。

セキュリティソフトはソフトにもよりますが、おおよそ5,000円～6,000円前後で市販されています。1本買うと3台まで利用可能としているものが多いようですので、年間1台あたりのコストは2,000円というところでしょう。どうしても予算的に後回しになりがちなセキュリティですので、この予算が回らずにセキュリティソフトの導入を行っていないところも見受けられます。実際、弊社でお伺いさせていただく企業様もセキュリティソフトを導入していない企業様が1割程度、導入していても「定義ファイル」の更新期限が切れている企業様が2割程度いらっしゃるようです。

ソフトウェアのコスト削減 (3)

セキュリティソフトはウイルスを駆逐するために、日々新たなウイルスに対応するための「ワクチン=定義ファイル」をネット経由でセキュリティソフトに配信しています。定義ファイルの更新期限が切れると、この「ワクチン」を入手できなくなり、新種のウイルスには対応できなくなってしまいます。ですから、せっかくセキュリティソフトを導入していても定義ファイルの更新期限が切れていては導入していないのと同じことになってしまうのです。お客様の中にはこの更新作業が面倒であるのと、更新料がかかってしまうために、更新されていないケースが多く見受けられました。

このような場合、今回ご紹介する**Microsoft Security Essentials**（以下MSE）を是非ご導入いただきたいのです。MSEはマイクロソフトが無料で提供しているセキュリティソフトです。無料で利用出来ると言っても、ウイルスを検知するためのエンジンは、マイクロソフトが法人向けに提供しているForefrontと呼ばれるセキュリティソフトと同等のエンジンを搭載しており、検知力が劣るわけではありません。ただ、市販のセキュリティソフトで可能な機能が大幅に削減されており、最低限の防御機能になっているものです。

最低限の防御機能のものでも、導入していない場合よりはウイルスに対する防御力は圧倒的に異なります。万が一、現在ご利用中のパソコンにセキュリティソフトが導入されていない場合、若しくはご利用中のセキュリティソフトの「更新期限」が切れている場合は、是非ともこのMSEをご導入をご検討下さい。

上記の事よりMSEを導入した場合のコストは・・・

パソコン**1**台あたり年間差額 **2,000**円

となります。

ご注意：セキュリティソフトは1台のパソコンに1種類のインストールが原則です。MSEをご導入頂く際は、以前にご利用中のセキュリティソフトを必ずアンインストールしてからMSEをインストールして下さい。1台のパソコンに2種類以上のセキュリティソフトをインストールしますと、セキュリティソフト同士の競合により予期せぬ不具合が発生する場合がございます。

通信のコスト削減（1）

①ひかり電話オフィスタイプ

既に皆様のオフィスでもインターネットはご利用かと存じますが、NTTの「ひかり電話」はご利用でしょうか？「ひかり電話」は「Bフレッツ」や「フレッツ光」などのNTTのネット接続と同時にご利用頂けるIP電話サービスです。

IP電話サービスとなると、その通話品質などがご心配な方もいらっしゃるかと存じますが、IP電話の初期の頃こそ確かにそのような問題はありましたが、現在は通常の加入電話と変化を感じられないほど品質はアップしております。

通常の一般加入電話と通話料金の比較をしてみましょう。

例として毎月の通話内訳が 市内への通話 5,000円、県内市外への通話 5,000円、県外への通話 5,000円、携帯への通話 10,000円 と仮定してみます。

一般加入電話（事務用）の場合：26,250円 － ひかり電話オフィスタイプの場合：15,304円
＝ 差額：10,946円

ご覧のように月額1万円以上のコストダウンとなります。

上記の比較は[ひかり電話オフィスタイプ料金シュミレーション](#)にて行ったものです。貴社の毎月の電話料金請求書をお手元にご用意頂いて、どのくらいコストダウンが可能かをお調べになってみては如何でしょうか？

通信のコスト削減（2）

②スカイプ

Skype <http://www.skype.com/intl/ja/home/>

皆様はスカイプと呼ばれるソフトをご存知でしょうか？ Skypeはインターネット回線を通じて、無料で通話ができるソフトです。同じSkypeをご利用の方同士であれば世界中どこへ通話しても無料です。

弊社のお客様の中でも特に外資系のお客様では導入率がほぼ**100%**である位有名なソフトです。もちろん海外だけでなく、国内の拠点間通話や会議などにもご利用頂けます。また、Webカメラを接続すれば相手の顔を見て話すことも可能ですので、テレビ会議（10名まで）も可能です。

利用には最低限マイクとスピーカー若しくはヘッドセットが必要です。

ソフトの生産性アップによるコスト削減（1）

①日本語入力ソフト

Google 日本語入力 <http://www.google.co.jp/intl/ja/ime/>

毎日パソコンをご利用頂く中で、日本語の入力は必須の機能かと存じますが、Windowsに標準で付属している日本語入力システムである「MS-IME」はその変換能力があまり高くなく、ユーザーの評価もあまり良いものではないようです。日本語の入力効率は業務に直接影響してくるものであり、変換能力が低い日本語入力システムでは、入力効率が悪く、生産性の低下に繋がります。変換能力の高い日本語入力システムとして、JustSystemの「ATOK」がございいますが、ATOKは有料（パッケージ版8,400円）であり入力効率は間違いなく上昇しますが、そのイニシャルコストに躊躇する場合もあるかと存じます。

そこで無料で変換能力の高い日本語入力システムとして**Google** 日本語入力をご紹介します。Google 日本語入力は検索で有名なGoogleが開発した日本語入力システムであり、特に固有名詞や俗語などの変換には圧倒的な変換効率を誇ります。「MS-IME」に比べるとその変換能力は秀でており、「MS-IME」から乗り換えることで、入力効率の改善により生産性がアップし、間接的にコスト削減に繋がるものかと存じます。

②ブラウザ

Firefox <http://mozilla.jp/firefox/>

インターネットをご利用になる上で、ブラウザは必ず利用するソフトです。殆どの方はWindows付属している「Internet Explorer」（以下IE）をご利用かと存じます。が、そのシェア故に、悪意ある者がその脆弱性について攻撃の標的になることが多いようです。極論すれば、IEをご利用になるだけで、かなりネット上のセキュリティの脅威に晒される割合が高くなるとも言えます。インターネットを閲覧するという行為自体に違いはないのですが、より安全に快適に且つ高速にインターネットをご利用頂くのであれば同じく無料でご利用いただける**Firefox**をお勧め致します。

IE自体がWindows標準で付属するブラウザですので、直接のコストダウンには繋がりませんが、閲覧の高速化とセキュリティ対策という観点から見れば、IEをご利用になるより将来的なコストダウンにはつながると存じます。FirefoxはIEからの移行も、もちろんサポートしており、インストール時に「お気に入り」のインポートも可能です。

ソフトの生産性アップによるコスト削減（2）

③メーラー

Windows Live メール for XP <http://explore.live.com/windows-live-mail-xp>

メールは今やお仕事で欠かせないものとなっているかと存じます。WindowsXPには標準のメーラーとして「**OutlookExpress**」が、WindowsVistaには「WindowsMail」が、Windows7にはダウンロードでこの「**WindowsLiveMail**」が提供されています。多くの方がそれぞれのOSに標準で搭載されているメーラーをご利用のことか存じますが、特にWindowsXPに搭載されている

「OutlookExpress」については、バグが多く弊社でもメールが消失するなどの事例をみております。お仕事で「OutlookExpress」をご利用になり続けるには、多少リスクが有るかと存じますので、可能であれば「OutlookExpress」から「WindowsLiveMail」への乗り換えをお薦め致します。

「WindowsLiveMail」は、もちろん「OutlookExpress」からの移行もサポートしており、インストール時に「OutlookExpress」のメール、アカウントを自動的にインポートすることが可能です。

Windowsにはそれぞれ標準でメーラーが付属しておりますので、こちらも直接のコストダウンには繋がりませんが、特にWindowsXPで「OutlookExpress」をご利用のお客様はメール消失等のリスクを回避する意味では、かなりのコストダウンに繋がると存じます。

尚、MS Officeに搭載されている「Outlook2003」や「Outlook2007」などと「OutlookExpress」は異なる別のソフトです。「Outlook2003」や「Outlook2007」については「OutlookExpress」のようなバグは報告されておられませんので、お間違えの無いようお願い致します。

お願い：今回ご紹介させて頂きましたソフトのご利用につきましては、ご自身のご判断にてお願い致します。ソフトのサポート及び不具合などにつきましては、各社に直接お問い合わせ下さい。弊社では、直接のサポートは致しかねます。

今回ご紹介致しましたソフトの中で、「Openoffice.org」と「MSE」と「Google日本語入力」をご導入頂くだけでもかなりのコスト削減に繋がるかものかと存じます。いずれも無料でご利用になれますので、お仕事でご利用になる前に是非一度、ご担当者さまご自身でお確かめ頂き、その使い勝手などをご確認頂くのも宜しいのではないのでしょうか？

まとめ

最後に1年間でどのくらいのコスト削減になるかまとめてみましょう。

- ・パソコン本体のコスト削減で . . . **12,460円** (パソコン**1**台あたり)
- ・コピー機や複合機のコスト削減で (モノクロ複合機の場合) . . . **130,255円**
- ・Officeソフトのコスト削減で . . . **8,042円** (パソコン**1**台あたり)
- ・セキュリティソフトのコスト削減で . . . **2,000円** (パソコン**1**台あたり)
- ・ひかり電話の導入で . . . **131,352円**

その合計額は . . . **284,109円**

いかがでしょうか？たったこれだけで年間**30万円**弱ものコスト削減となります。上記は目に見える金額だけを算出したものですので、生産性のアップに繋がる部分のコストダウンは含まれておりませんし、パソコンの台数が増えれば更なるコスト削減になるのはお分かりかと存じます。是非、この機会に貴社のITコスト削減をお考えになってみては如何でしょうか？

アイティーヘルプ株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26有明フロンティアビルB棟9階

TEL:03-5530-8652 FAX:03-5530-8653 MAIL:admin@it-help.jp

本書の無断転載を禁じます Copyright(c)2010 IT-Help,Inc. All Right Reserved.